

令和7年度
第2回川口市文化財保護審議会
会議資料

日時 令和8年2月20日(金) 午前10時00分

場所 川口市役所第二本庁舎 6階 2601B会議室

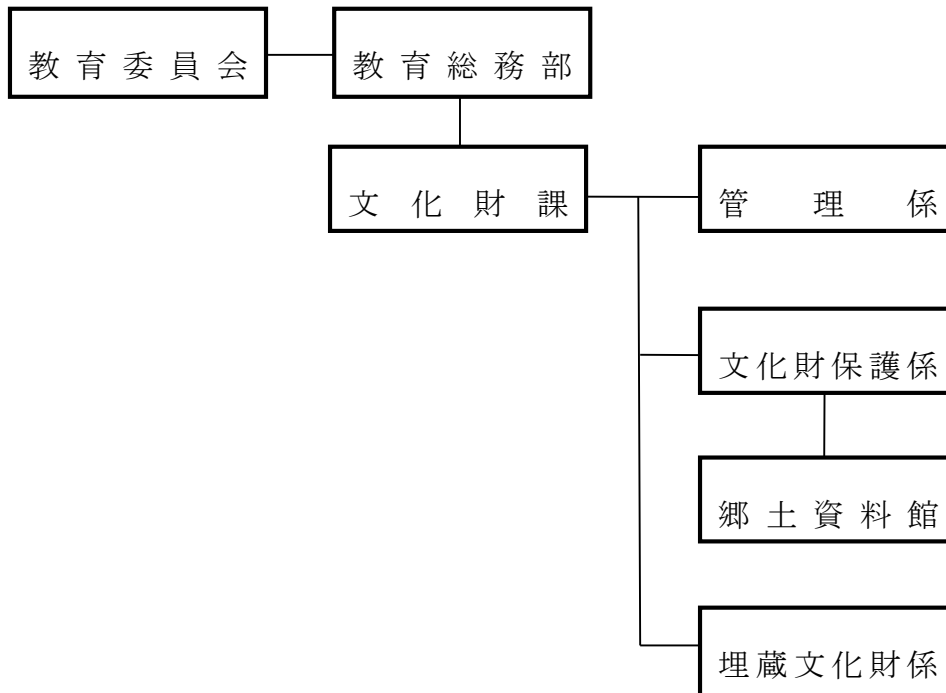
川口市教育委員会

川口市文化財保護審議会委員名簿

(任期 令和6年7月17日から令和8年7月16日)

氏 名	担 当	備 考
有元 修一	有 形	大学名誉教授
金箱 文夫	埋 蔵	元川口市職員
黒津 高行	有 形	大学名誉教授
後藤 治	有 形	大学理事長
鈴木 淳	有 形	大学教授
鈴木 誠	記念物	大学名誉教授
田村 均	有 形	大学名誉教授
西沢 淳男	有 形	大学教授
林 宏一	有 形	元県立博物館長
三田村 佳子	民 俗	元県職員

川口市教育委員会事務局



令和7年度

第2回 川口市文化財保護審議会

次 第

日 時 令和8年2月20日(金)

午前10時00分

場 所 川口市役所第二本庁舎

6階2501B会議室

1 開 会

2 あいさつ

川口市文化財保護審議会 会長

3 議事録署名委員の指名

4 議 事

(1) 報告

- ① 令和7年度文化財保護事業報告について
- ② 史跡見沼通船堀保存活用計画に係るワークショップについて
- ③ 令和7年度発掘調査報告
 - ・宮合貝塚遺跡第17次調査
 - ・小谷場貝塚遺跡第37次調査
- ④ 市指定文化財鉄製火鉢明治三十五年喜道造ノ銘アリの調査について
- ⑤ ベーゴマを活用した郷土資料館の取組と近世以降におけるバイゴマ・ベーゴマの調査について

5 そ の 他

6 閉 会

4 議事

(1) 報告

① 令和7年度文化財保護事業報告について

ア 指定文化財の保護・管理事業

- (ア) 国指定重要有形民俗文化財「木曾呂の富士塚」管理事業
・ 樹木管理委託事業

- (イ) 赤山陣屋跡保存整備事業

- ・ 樹木管理委託事業
- ・ 保存整備用地賃貸借事業
- ・ 保存整備事業用地購入

(大字赤芝新田字道上 計 529.67 m²)

- (ウ) 国指定重要文化財建造物「旧田中家住宅」保護・管理事業

- ・ 建物管理、庭園管理、各種修繕
- ・ 調査工事委託事業
- ・ 令和7年度旧田中家住宅耐震補強検討会議
第1回 令和7年11月10日(月)10時～10時45分
(1) 洋館主体部小屋組耐震補強方針について

- (エ) 指定文化財防火管理状況査察(消防局共催)

- ・ 文化財防火デー協賛事業として実施(1月26日(月))
- ・ 江戸袋氷川神社他5件

- (オ) 補助事業

- ・ 指定文化財管理維持費の交付
- ・ 無形民俗文化財等保存伝承活動事業費補助金の交付

イ 文化財調査・記録事業

- (ア) 国登録有形文化財候補の状況

- ・ 芝崎家住宅の登録に向けた手続きの実施

- (イ) 市内文化財現況調査

- ・ 「平剣」縞見本調査

(ウ) 民俗文化財調査

- ・ 鋳物業関係資料及び民具資料の収集・調査・整理事業
- ・ 中山氏所蔵「端午の節句幟旗類」の記録調査

年代：不明（明治～昭和か？）

内容：端午の節句の幟旗6点、および幟旗に付属する吹流し小旗7点の計13点の資料について、記録調査を実施。

ウ 文化財普及啓発事業 (P.7【資料1】)

(ア) 夏休み子ども体験教室

(イ) 歴史自然資料館実施事業

- ・ 業務委託による運営

受託業者 株式会社デジタルSKIPステーション

(ウ) 文化財調査報告会の開催

- ・ 令和8年3月14日（土）開催予定

文化財課学芸員による報告

企画展「大熊☆氏廣」調査報告－美術鋳物を中心に－

伝説の焼型師・高木喜道作鉄製火鉢について

バイゴマ・ベーゴマ調査報告－近世から令和－

(エ) 文化財マップの印刷

(オ) 広報活動（公式HP、SNS、YouTube）

エ 協力事業

(ア) 学校支援事業

※以下、令和7年度は、令和8年2月18日までの延べ数

a 歴史教室（小・中学生）

- | | | | |
|------------|------|---------|-------------------|
| ・ 出前コース | 72校 | 6,103人 | (昨年度 66校 5,786人) |
| ・ オンラインコース | 175校 | 15,204人 | (〃 156校 20,977人) |
| ・ 移動博物館コース | 6校 | 446人 | (〃 7校 449人) |
| ・ 職員研修コース | 0校 | 0人 | (〃 1校 20人) |
| 計 | 253校 | 21,753人 | (〃 240校 30,001人) |

b 社会科見学（小・中学校 全学年対象）

4校 計258人（うち引率者数17人）（昨年度6校337人）

(イ) 3館連携事業

「川口市・3館連携スタンプラリー」

・令和7年12月13日(土)～令和8年2月8日(日)

中央図書館、科学館との連携事業

(ウ) 講演会等への講師の派遣、取材対応等 (P.8【資料2】)

(エ) 文化財等の貸出し及び特別利用許可 (P.9【資料3】)

オ 古文書等文献資料の調査・記録・保存・普及活用事業

(ア) 古文書、古書籍、写真等の調査・収集・保存作業

a 永瀬氏所蔵「永瀬三男家文書」の寄贈に係る調査

年代：昭和初期

内容：川口尋常高等小学校初等科・高等科、川口高等女学校などにおいての賞状、証書、白黒写真、写真アルバム類のほか、軍用編込ゲートル(足巻、収納袋・軍奉公袋付)類など計102点。

b 山崎氏所蔵「山崎繁雄家文書」の寄贈に係る調査

年代：明治～昭和

内容：山崎家の明治から昭和期の香典帳類、大正期の建物建築書類、山崎商店(屋号ハタヤ)の明治・大正期の織物商品等の帳簿類、鉄道運送梱包資材に関する書類のほか、赤山地域の特産物であるボウフウや生姜の栽培に関する書類、差間地区の字地名の近代の地引図面、昭和期の開発図面など計57点。

c 東領家小学校所蔵資料の調査・保存作業

年代：近現代

内容：東領家小学校所蔵の未整理資料「河原順信関係資料」(儒学者安井息軒の弟子で、明治・大正期に南平柳村尋常高等小学校准訓導として教員を務めた人物)の第二次整理の依頼を受けて、資料整理を昨年度より実施。河原順信氏の南平柳村尋常小学校関係の書類、教科書、物品のほか、安井息軒の門弟たちが収集した儒教関係書など合計530点を整理した。

d 天晴山大行院所蔵資料の調査・整理作業

内容：芝高木にある天晴山大行院より依頼を受けて、同院の本堂裏倉庫に所蔵されていた資料の整理を今年度より実施中。これまで仮燻蒸・清掃と各資料の大別を行い、経典類・和漢書籍類・掛軸物・棟札板類・摺版木類・寺院または住職関係の書類・鑿子(仏具)等からなることを把握した。

そのうち大般若経典については、経箱10箱・経典約500巻が現存しているが、いずれも剝離が多く、経典の頁順にも不整合があるため、現在補修作業を行っている。

古文書総収容数（寄贈・寄託資料含む、大行院資料除く） 92,383 点

(イ) 古文書講座の開催（P.7【資料1】「郷土資料館実施事業」を参照）

a 古文書初級講座「古文書ってなに？」

b 古文書中級講座「読み解く古文書」

カ 遺跡発掘調査事業

(ア) 民間開発、個人住宅建設等に係る確認調査

2月1日現在 試掘調査 17 件(国庫 16 件)

(イ) 民間開発、個人住宅建設等に伴う本発掘調査及び報告書作成・刊行

本発掘調査 0 件

報告書作成・刊行 0 件

(ウ) 公共工事に伴う本発掘調査及び報告書作成・刊行

本発掘調査

・西部土地地区画整理事業 小谷場貝塚遺跡第 37 次調査

・北部土地地区画整理事業 宮合貝塚遺跡第 17 次調査

報告書作成・刊行

・西部土地地区画整理事業 小谷場貝塚遺跡第 28 次調査

・北部土地地区画整理事業 宮合貝塚遺跡第 16 次調査

(エ) 令和 6 年度国庫補助事業の報告書作成作業

・令和 6 年度国庫補助試掘調査 21 件

(オ) 川口市遺跡調査会未刊行報告書作成業務

・宮合貝塚遺跡第 8 次調査

(カ) 出土品保存処理

・三ツ和遺跡出土木製品（井戸枠 2 点・井戸枠補強材 2 点）

(キ) 資料貸出

・赤山陣屋跡遺跡トチの実加工場実測全景図 1 点

山梨県立考古博物館館長 講演資料

令和 7 年 5 月 22 日

・赤山陣屋跡遺跡出土土器 5 点、木製品 1 点、木材 2 点、石製品 1 点

埼玉県立歴史と民俗の博物館常設展示室

令和 7 年 7 月 4 日～令和 8 年 7 月 12 日

キ 埋蔵文化財包蔵地確認業務

(ア) 埋蔵文化財窓口・FAX 対応

2月1日現在 問合せ 3,413 件 調査依頼 221 件

ク 史跡等保存活用計画策定業務

(ア) 史跡見沼通船掘保存活用計画策定

ウ 文化財普及啓発事業

【資料1】

(ア) 夏休み子ども体験教室

No	事業の名称	開催日	参加者数	備 考
1	ペーゴマ大会～夏の陣	7月20日(日)	33人	小中学生全学年を対象にした、ペーゴマ教室とペーゴマ大会
2	夏休みスタディ・サポート	7月20日(日)～8月31日(土)	84人	小中学生全学年を対象にした、川口市の歴史・地理・文化財や社会科に関する学習相談
3	まが玉を作ろう	8月7日(水)8日(金)	38人	小中学生全学年と一般を対象にした、まが玉作り体験教室
4	ペーゴマ加工教室	8月9日(土)	38人	小中学生全学年と一般を対象にした、ペーゴマの加工教室

(イ) 郷土資料館実施事業

No	事業の名称	開催日	参加者数	備 考
1	企画展「大熊☆氏廣一入門編：『大熊氏廣作品集』の世界」	2月15日(日)～6月1日(日) ※好評につき会期を延長	1,095人	郷土の偉人・大熊氏廣の作品集をテーマにした、川口の誇る近代彫刻の先駆者を紹介する企画展
2	ミニ企画展「水害と川口」	7月19日(土)～9月21日(日)	1,239人	江戸時代から現代まで川口が関係する水害および治水を紹介するミニ企画展
3	企画展「大熊☆氏廣一応用編：近代日本がもてた彫刻家」	2月21日(土)～5月10日(日)	開催予定	郷土の偉人・大熊氏廣の生涯をテーマにした、川口の誇る近代彫刻の先駆者を日本史の流れの中から紹介する企画展
4	企画展関連講座「大熊氏廣一近代日本最初の彫刻家」(講師：田中修二氏(日本大学教授))	2月23日(月)	開催予定	近代彫刻史の視点から大熊氏廣について学びを深める講座
5	古文書初級講座「古文書ってなに？」	9月13日(土)～9月15日(月)	延べ57人	市域に残された古文書を用いて初歩的な古文書の読み方を学ぶ体験教室
6	古文書中級講座「読み解く古文書」	2月14日(土)15日(日)	延べ26人	市域に残された古文書を用いて中級レベルの古文書を教材に解説する体験教室

(ウ) 歴史自然資料館実施事業

No	事業の名称	開催日	参加者数	備 考
1	ワークショップ「泳げこいのぼり」	4月29日(火・祝)	29人	折り紙での鯉のぼり作成・コマ撮りアニメーションの製作
2	映像で見る昔話vol.1 きつねのよめいり	5月3日(土)～5日(月・祝)	65人	人形劇「お話かざぐるま」のうち、川口市(旧鳩ヶ谷)にまつわる民話「きつねの嫁入り」を上映
3	伝統文化や季節を感じる「和菓子作りに挑戦！」	5月6日(火・祝)	22人	端午の節供にちなみ、和菓子作りの技術「練り切り」を体験
4	ペーゴマ大会	5月17日(土)	123人	イイナパーク春まつり関連企画として開催
5	赤山陣屋のジオラマや地図を活用した「赤山陣屋の解説」	6月28日(土)	20人	歴史自然資料館内に展示されている赤山陣屋のジオラマや地図を利用し、赤山陣屋について解説
6	特別上映「川の流れを変えた一族 伊奈氏のおはなし」	6月28日(土)～7月6日(日)	923人	埼玉県が製作した映像作品である、『川の流れを変えた一族「伊奈氏のおはなし」』の特別上映
7	伊奈氏ぬりえ	6月28日(土)～7月6日(日)	55人	伊奈氏に関する図柄のぬりえを体験
8	映像の上映と解説「赤山陣屋と伊奈氏」	6月29日(日)	12人	数々の偉業を遂げた伊奈氏についての映像上映とスタッフによる解説
9	砂絵ワークショップ	7月5日(土)	砂絵 7人 缶バッチ26人	歴史絵本などの伊奈氏に関する資料等を参考にした絵を描き、砂絵を体験 ※低学年向けに缶バッチ製作体験も実施
10	企画展「昆虫まつり」	7月23日(水)～8月31日(日)	4,653人	イイナパーク川口・歴史自然公園とその周辺で見られる「昆虫」たちの生態などを、写真パネル展示とスライド上映で紹介
11	企画展関連ワークショップ「むし虫ストップモーションアニメーション」	7月23日(水)	16人	写真を見ながら粘土で昆虫を作り撮影し、アニメーション動画を制作
12	企画展関連ワークショップ「バーチャル虫取りに挑戦！」	8月12日(火)～17日(日)	67人	キネクト装置を活用し、参加者がモニターに現れ、アニメーションで描かれた昆虫を採取する没入型ワークショップ
13	企画展関連講演会「埼玉県、最近の身近な昆虫の話題～私たちの庭で、畑で、水田で 昆虫の増加が深刻です～」	8月30日(土)	14人	加須市大越昆虫館館長・江村薫氏による、温暖化や外来種増加、地域の保全対象生物などの昆虫問題に関する講演会
14	企画展関連ワークショップ「バグホテルを作ろう」	8月31日(日)	7人	イイナパーク近隣で採取した材料を使い、昆虫たちが住み着くための家「バグホテル」を制作
15	映像で見る昔話vol.2 見沼の竜	9月13日(土)～9月15日(月・祝)	23人	人形劇「お話かざぐるま」の中から「見沼の竜」を上映
16	ふるさと川口座談とハーモニカ演奏「悠久の見沼を想う・・・」	9月21日(日)	38人	見沼代用水の歴史や伝説・自然に詳しい川口在住のブルースハーモニカ奏者・浅見安二郎氏と歴史自然資料館スタッフによる講演会、および浅見氏によるハーモニカの演奏会
17	日本文化 家紋	10月18日(土)	26人	実在の家紋をモチーフにタブレット等を活用し、オリジナルの家紋を作成
18	柿渋体験	11月29日(土)	36人	柿渋を塗布した木材をくみ合わせた、コースターや小物入れの製作体験
19	クリスマス飾ろう	12月21日(日)	75人	木の枝や、松ぼっくり・どんぐりなどの木の実に様々な飾り付けや着色をしてクリスマス飾りを制作
20	笑う門には福来る「福笑い」で大笑い	1月10日(土)・11日(日)	91人	マグネットのついた顔パーツをボードに貼り付け、福笑いを体験
21	鬼は外・福は内「鬼のお面を創って節分をむかえよう」	1月24日(土)	45人	紙パルプ製のお面に着色したり、毛糸などをつけたりして工夫を凝らしたお面を創作
22	企画展「imageする川口の昭和Ⅱ」	1月31日(土)～3月1日(日)	開催中	昨年開催『imageする川口の昭和』の第2弾として、川口市の古い写真を活用してAI技術で着色・動画化し、昭和のよりリアルな風景を紹介
23	企画展関連ワークショップ「けん玉に挑戦」	2月11日(水・祝)	集計中	けん玉世界チャンピオン・坂本天翠氏によるけん玉パフォーマンスの披露と、初心者向けのけん玉教室の開催
24	企画展関連ワークショップ「昭和初期の紙フィルムアニメを観てみよう」	2月14日(土)・15日(日) 21日(土)・22日(日)	開催中	のらくろ、カチカチ山など昭和初期に紙フィルムで製作されたアニメ作品をデジタル化し、上映
25	企画展関連ワークショップ「歴史自然資料館ペーゴマ大会～赤山の陣」	2月28日(土)	開催予定	様々な種目にチャレンジするペーゴマ大会
26	江戸袋の獅子舞 歴史文化講演&詩吟会	3月20日(金・祝)	開催予定	川口市指定無形民俗文化財「江戸袋の獅子舞」について、講演や詩吟、記録映像上映などを通して紹介

エ 協力事業

【資料2】

(ウ) 講演会等への講師の派遣、取材対応等

令和7年度 講演会等への講師の派遣および取材対応等

	主催者	件名	実施日
1	朝日新聞社	全国紙・朝小はじめての新聞「はじめてみよう！ペーゴマ」	4月2日（水）発行・夕刊
2	読売新聞社	埼玉県版 企画展「大熊★氏廣」	4月13日（日）発行・朝刊
3	埼玉新聞社	歴史自然資料館「端午の節供」	5月4日（日）発行・朝刊
4	教育出版株式会社	教育情報誌『Educo』 「戦後80年一。資料館が新たな語り部に」	5月12日（月）発行
5	朝日新聞社	埼玉県版「令和にペーゴマブーム」	5月14日（水）発行
6	川口経済新聞	企画展「大熊★氏廣」	5月14日（水）配信
7	川口市・公園課	イイナパーク春祭り「ペーゴマ教室／ペーゴマ大会」	5月17日（土）18日（日）
8	川口市・職員課	講義「新採職員研修」	5月21日（水）
9	埼玉県文化財保護協会	研修会「川口の史跡巡り」	5月22日（木）
10	埼玉学園大学	講義「社会科（博学連携の実際）」	5月29日（木）
11	埼玉学園大学	講義「社会科（博学連携・現地見学）」	6月1日（日）
12	日テレ BS12	番組名「船越英一郎の昭和再生ファクトリー」ペーゴマ「稲尾」について	6月5日（木）放送
13	川口铸物ニュース	7/17 铸物技術講演会について	6月15日（日）発行
14	朝日新聞社	長嶋茂雄追悼記事・ペーゴマ「長嶋」	6月20日（金）発行
15	NHKニュース7	戦時中の学校日誌（芝小、本町小、新郷小）	6月21日（土）放送
16	地域情報紙マイシティじゃ〜なる（読売新聞・綴じ込み）	オンライン社会科見学「いもの工場を見学しよう」	6月26日（木）発行
17	イオンモール(株) イオンモール川口	「川口歴史クイズ大会&ペーゴマ教室」	7月12日（土）
18	イオンモール(株) イオンモール川口	「ペーゴマ大会」	7月13日（日）
19	埼玉県铸物技術委員会	講演「川口铸物の歴史と現在について」	7月17日（木）
20	身近な歴史懇話会	講演「水害と川口」	7月24日（木）
21	川口商工会議所鳩ヶ谷支部	地蔵院「川口歴史クイズ&ペーゴマ大会」	8月3日（日）
22	朝日新聞社	戦時下の学校日誌	8月27日（水）
23	朝日新聞社	戦時下の手榴弾製造・铸物工場の動画フィルム	9月7日（日）発行
24	川口モーニングロータリークラブ	講演「川口の铸物の歴史とペーゴマの取組について」	9月13日（土）
25	イオンモール(株) イオンモール川口	ワークショップ 「コマ博士×ペーゴマ先生・コマの不思議」	9月20日（土）
26	もりやの歴史を学ぶ会	講演「赤山陣屋と伊奈氏」	10月4日（土）
27	埼玉学園大学	講義「初等教科教育法（社会）」	10月7日（火）
28	産経新聞社	川口のペーゴマブームと郷土資料館の展示	10月8日（水）
29	イオンモール(株) イオンモール川口	「川口歴史クイズ大会&ペーゴマ教室」	10月11日（土）
30	イオンモール(株) イオンモール川口	「ペーゴマ大会」	10月12日（日）
31	川口ロータリークラブ	講演「川口铸物の歴史とペーゴマブームについて」	10月16日（木）
32	川口市・産業振興課	市産品フェア2025「ペーゴマ大会」	10月26日（日）
33	川口ロータリークラブ	講演「郷土の偉人・大熊氏廣」	11月6日（木）
34	るるぶ	郷土資料館および川口の歴史	11月7日（金）
35	テレビ東京	「所さんの学校では教えてくれないそこんトコロ！」撮影	11月7日（金）放送
36	川口市・指導課	適応指導教室における校外学習引率	11月12日（水）
37	川口介護協会	川口介護フェスティバル「川口歴史解説&ペーゴマ大会」	11月14日（金）
38	NHKさいたま放送局	「首都圏ネットワーク」川口の铸物の歴史とペーゴマブーム	12月5日（金）放送
39	川口盛人大学	歴史講座①「郷土の偉人・大熊氏廣」	12月22日（月）
40	川口市立中央図書館	子どもかるた会・歴史講座	1月6日（火）
41	川口盛人大学	歴史講座②「大熊氏廣」フィールドワーク・上野公園	1月12日（月）
42	NHK総合	「列島ニュース」 12/5の内容を全国ネットで再放送	1月13日（火）放送
43	NHKさいたま放送局	NHKさいたまFMラジオ「川口铸物の歴史と郷土資料館を中心としたペーゴマブーム」	1月21日（水）放送
44	川口メディアセブン	歴史講座「郷土の偉人・大熊氏廣」	1月24日（土）
45	川口モーニングロータリークラブほか、ロータリークラブ2団体	講演「川口の铸物の歴史とペーゴマの取組について」	1月27日（火）
46	埼玉県広聴広報課	テレビ埼玉「いまドキッ！埼玉」川口の味噌	1月31日（土）放送
47	イオンモール(株) イオンモール川口	「ペーゴマ大会」	2月8日（日）
48	川口市立美術館	「川口の文化を深堀するー铸物のまちとペーゴマ文化ー」	2月22日（日）予定
49	埼玉県文化振興課	埼玉県文化アプリ「ぶんたま」伝統文化体験イベント	2月23日（月）予定
計	講師 29件、取材対応等 20件（新聞・雑誌・機関紙12/テレビ・ラジオ・Webメディア8）		

文化財課所蔵の文化財等資料の利用件数一覧

文化財課 文化財保護係

年度	利用総件数	マスコミ関係	企業・諸団体	官公庁関係	個人研究者	概要
令和元年度	18件	4	4	7	3	昭和期の川口市内風景写真、各種産業関係写真、各種文化財資料の利用
令和2年度	11件	3	1	2	5	市内各種風景写真、個人利用の多くは卒業論文に掲載の文化財資料写真利用他
令和3年度	36件	7	8	11	10	大正・昭和期の川口市内風景写真、鋳物や味噌屋等の産業関係写真、民具や古文書資料、各種文化財の資料利用
令和4年度	30件	6	14	3	7	昭和期の川口市内風景写真、各種産業関係写真、各種文化財資料の利用、郷土資料館等施設紹介等
令和5年度	38件	0	20	9	9	昭和期の川口市内風景写真、各種産業関係写真、各種文化財資料の利用、郷土資料館等施設紹介等
令和6年度	37件	3	22	6	6	昭和期の川口市内風景写真、各種産業関係写真、各種文化財資料の利用、郷土資料館等施設紹介等
令和7年度	40件	5	13	19	3	昭和期の川口市内風景写真、各種産業関係写真、戦時中の学校日誌、埋蔵文化財、各種文化財資料の利用、郷土資料館等施設紹介

※ 令和7年度から埋蔵文化財も含む

(1) 報告

②史跡見沼通船堀保存活用計画に係るワークショップについて

木曾呂富士塚を含む、国史跡見沼通船堀の保存計画策定のためのワークショップを令和7年10月18日、11月1日の2日間で開催し、さいたま市在住の方8名、川口市在住の方5名、千葉県在住の方2名に参加いただいた。1日目は史跡見沼通船堀、鈴木家住宅、水神社、木曾呂富士塚のフィールドワークを行い、2日目は屋内でグループディスカッションを行った。

① 1日目：フィールドワーク

- ・10月18日（土）10時～12時

史跡見沼通船堀、鈴木家住宅、水神社、木曾呂富士塚をめぐる両氏の担当が解説を行った。当日にワークシートを配布し、グループディスカッションまでに記入をお願いした。

② 2日目：グループディスカッション

- ・11月1日（土）10時～12時

さいたま市尾間木公民館講座室にて、ワークシートに基づいたフィールドワークを経ての感想、保存整備への課題、活用の方法についてのグループディスカッションを行った。

[グループディスカッションでの意見]

- ・思っていたより整備がされていなかった。
- ・案内板や模型などの老朽化が目立つ。
- ・見沼から八丁堤、通船堀までの歴史がわかる案内板がほしい。
- ・通船堀から木曾呂の富士塚までの案内をもっとわかりやすくしてほしい。
- ・富士塚について文化財としての価値があるならばもっと整備をするべきである。現状の整備状況で文化財としての価値を語られても説得力がない。
- ・階段が崩れているなど整備がされていない。手すりを設けるなどの安全対策が必要である。
- ・地元に住んでいる者としてはあまり整備し過ぎず、自然を残すなどして現状の良いところを残してほしい。
- ・歴史祭りなどのイベントを開催してほしい。

・10月18日 フィールドワーク



鈴木家住宅



見沼通船堀



木曾呂の富士塚

・11月1日 グループディスカッション



(1) 報告

③令和7年度発掘調査報告

・宮合貝塚遺跡第17次調査について

(1) 宮合貝塚遺跡と今回の調査の概要について

宮合貝塚遺跡は、大宮台地鳩ヶ谷支台のほぼ中央に位置し、樹枝状の谷奥部に接する台地縁辺に位置する。昭和59年から令和5年までに区画整理事業と民間開発に伴う発掘調査が16次にわたり行われている。

発掘調査では、縄文時代後期から晩期にかけての竪穴建物跡、溝状遺構、土坑墓、地点貝塚、完形土器の集中出土地点等が確認されている。また、遺跡の中心部では縄文時代晩期の完形土器や土製品を大量に出土する遺物包含層が確認されており、発掘調査を行った面積は限られているものの、遺物の出土量が多いことが特徴である(図1)。

今回の調査は第17次調査となり、北部区画整理事業による道路整備を調査原因とする。調査面積は93㎡であり、縄文土器が大量に出土する遺物包含層、縄文時代の土坑、小穴等の遺構が検出された(図2)。検出された土坑、小穴は竪穴建物跡の柱穴痕の可能性も考えられる。

- ・調査期間 令和7年11月4日～令和8年2月末
- ・調査面積 93㎡
- ・出土遺物 縄文土器、石器等テンバコ約18箱
- ・調査原因 北部区画整理事業による道路整備

(2) 発掘調査の方法

現地表面から約20～30cmの深さまで重機による掘削を行い、表土を除去した。その後、土層観察用のベルトを東西に1箇所、南北に2箇所を設定し、人力による掘削作業を行った。大量の縄文土器が出土する遺物包含層は約50～70cmの深さまで確認された。遺物包含層はローム土などの客土を含まない黒色土で、過去の調査からⅡa～Ⅱd層に分層されることが分かっている。この分層基準に準拠し、各層ごとに遺物の出土分布状況や検出された遺構の記録作業を行った。遺物包含層(黒色土)下層の関東ローム層には土坑や小穴の痕跡が多く検出された。

(3) 発掘調査の成果について

宮合貝塚遺跡の特徴のひとつとして、黒色土の堆積層が非常に厚いという点が挙げられる。今回の調査でも最も厚い箇所約80cmの黒色土堆積が確認された。この黒色土の堆積層を関東の縄文時代後晩期で確認される盛土遺構として捉えるべきか否かの判断は難しく、過去の調査においても黒色土の堆積について明確な報告はされていない。

[遺物包含層の特徴について]

- ・遺物包含層は色調や土質に差のない黒色土でⅡa～Ⅱd層に分層される。断面の観察では遺構を確認することができるが、色調や土質に差がないため平面の掘り下げでは遺構を検出することが難しい。
- ・縄文土器等の遺物はⅡb層からⅡc上層に集中して出土し、Ⅱc下層以降では遺物の出土は

減少する。同じくⅡb・Ⅱc上層中では貝層や焼土・炭化物、骨粉などが検出されることから、縄文時代の活動はⅡb・Ⅱc上層面で行われていたと考えられる。またⅡc層より下層は自然堆積層である可能性が考えられる。

- ・黒色土からローム層への漸移層となるⅡd層やローム層では土坑や柱穴跡が多数検出される。断面図からⅡa～Ⅱc層から掘り込まれた遺構であると考えられる。断面や平面で確認される遺構の覆土には客土がみられないことから、かつてはⅡa上層に黒色土の堆積層もしくは盛土が存在した可能性が考えられる。

[出土土器の時期について]

また、第16次調査と同様に、今回の調査においても出土する土器は縄文時代後期の土器が中心であり、縄文時代晩期の土器は少量であった。縄文時代晩期の遺物や遺構が確認されるのは、今回の調査区東側の二宮神社北側のみである可能性が高まった。

(4) 今後の課題について

通常の遺跡発掘調査では重機を用いて約50～70cmの掘削を行い、その後人力で遺構を掘り下げ記録作業を行う。しかし宮合貝塚遺跡では約30cmの深さで縄文土器を多く含む遺物包含層が検出され、深さ約60～80cmまで土器が出土する。そのため、人力による掘削を行わなければならない、調査の期間が延び、作業員数も増加する。民間の発掘会社に発掘調査、出土遺物の整理作業・報告書の刊行までを委託すると、100㎡の調査で8,000万円～1億円程度の費用となり、発掘調査のための予算確保が問題となっている。文化財課の職員で可能な限りは対応をしていくが、調査期間が長くなるため、その他の業務に支障が出てしまうことが課題である。

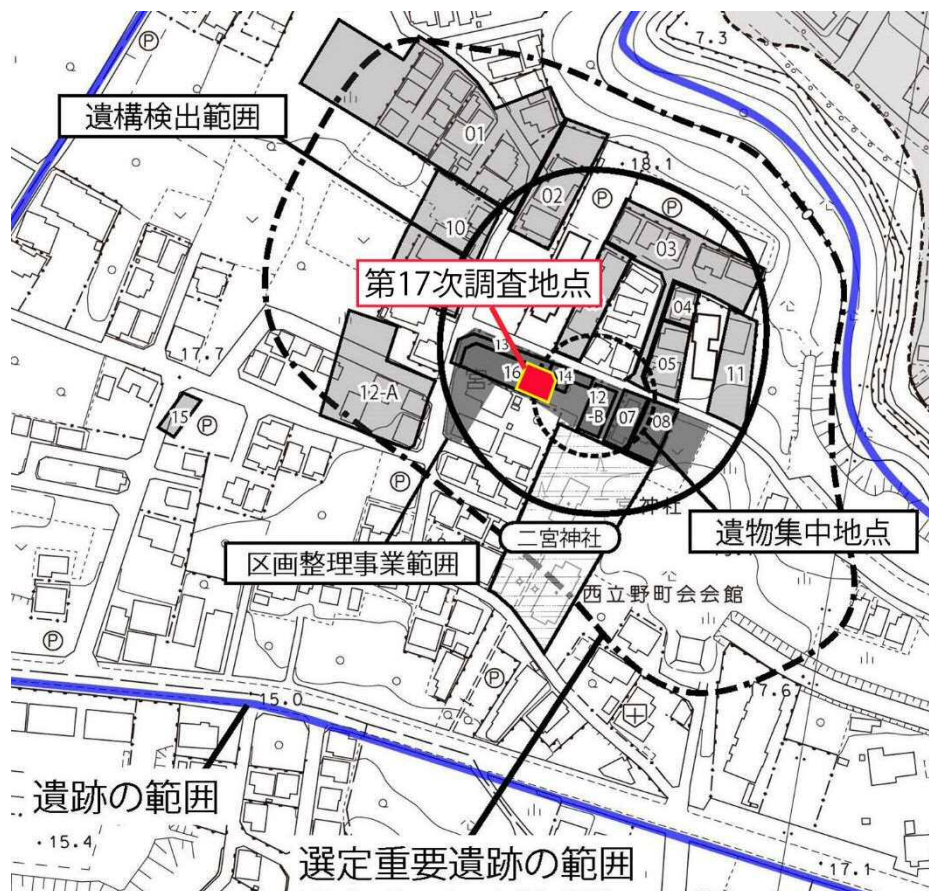


図1 調査地点位置図

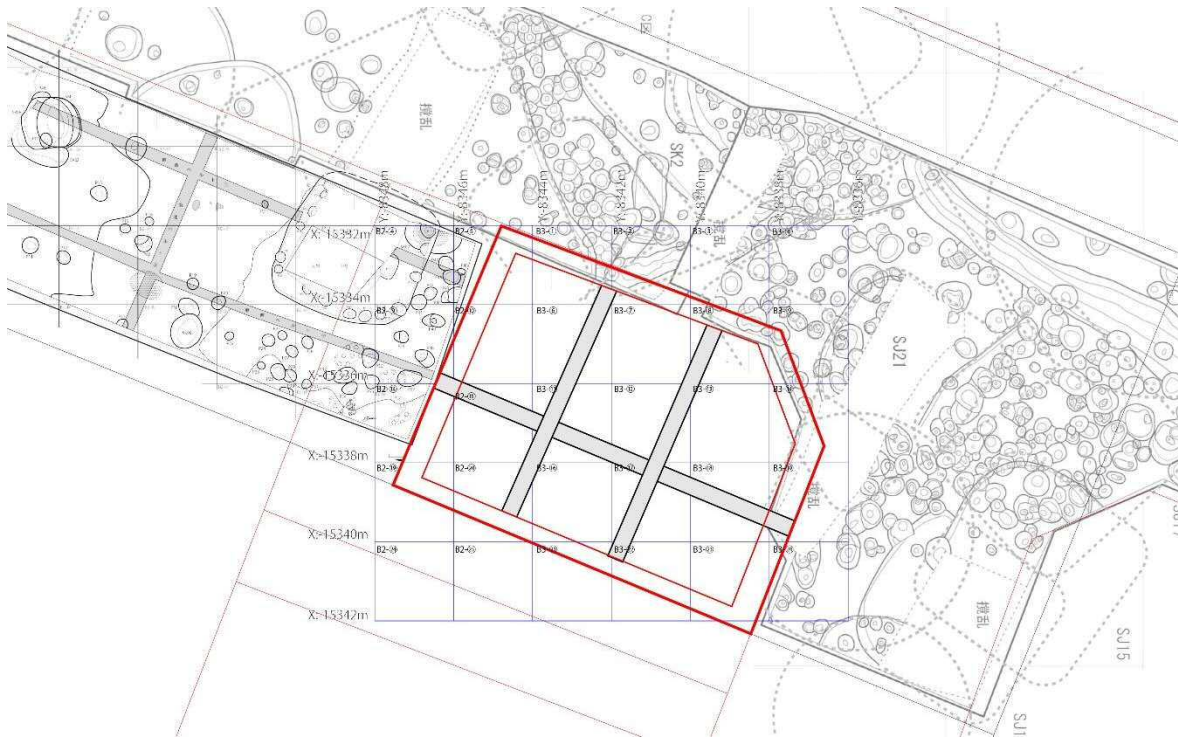


図2 調査範囲図

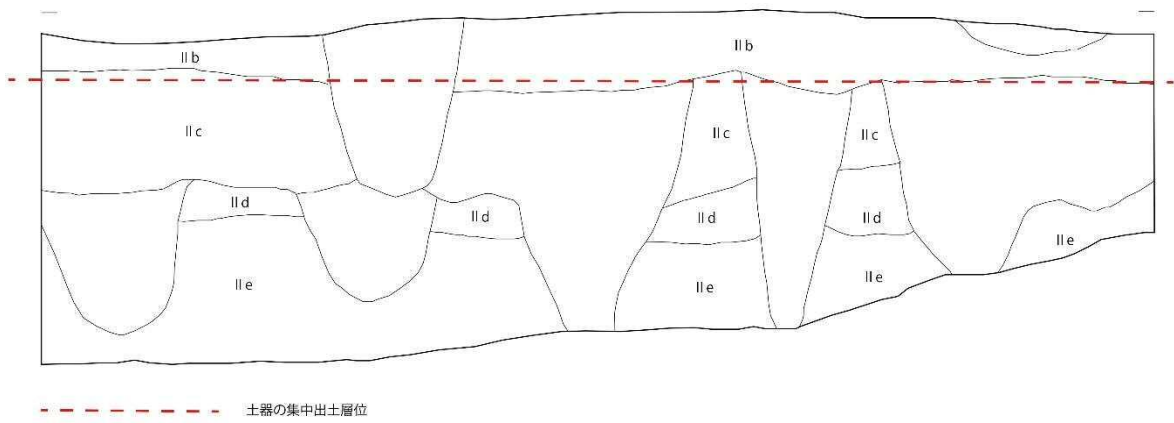


図3 南北ベルト断面図



1. 調査範囲



2. IIb 上層 縄文土器出土状況



3. IIb～IIc層 縄文土器出土状況



4. IIb～IIc層 縄文土器出土状況



5. 南北ベルト断面状況



6. IIe層（關東ローム層）遺構検出状況

(1) 報告

③令和7年度発掘調査報告

・小谷場貝塚遺跡第37次調査について

(1) 小谷場貝塚遺跡の概要とこれまでの調査成果

小谷場貝塚遺跡は、昭和36年(1961)9月1日に埼玉県旧跡・記念物に指定され、昭和44年(1969)には埼玉県選定重要遺跡に指定されている。市域北西部の浦和支台南端の舌状台地に位置し、南側に荒川低地、東側に中川低地を臨み標高は14m前後である。縄文時代前期の貝塚と弥生時代後期の環濠集落を中心とする複合遺跡である。

小谷場貝塚遺跡の発掘調査は、昭和32年(1957)に立正大学による学術調査(第1次調査)が行われた。その後は、開発に伴い教育委員会、川口市遺跡調査会により発掘調査が行われた。近年は区画整理事業に伴う発掘調査が行われ、令和7年度までに37次にわたる発掘調査が行われた。第1次調査では遺跡南側崖線で確認される縄文時代前期の貝塚を中心とした調査が行われたが、その後は舌状台地上に広がる弥生時代後期の環濠集落の調査が中心となった。

これまでの調査で、縄文時代の竪穴建物跡14軒、弥生時代の竪穴建物跡207軒、方形周溝墓2基、環濠跡が確認されている。弥生時代の遺構や遺物が多く確認されているが、これまで発掘調査された全ての範囲で縄文時代の土器片も多く出土することから、縄文時代の集落の後に、弥生時代の集落がつけられたと考えられる。

(2) 第37次調査の発掘調査成果について

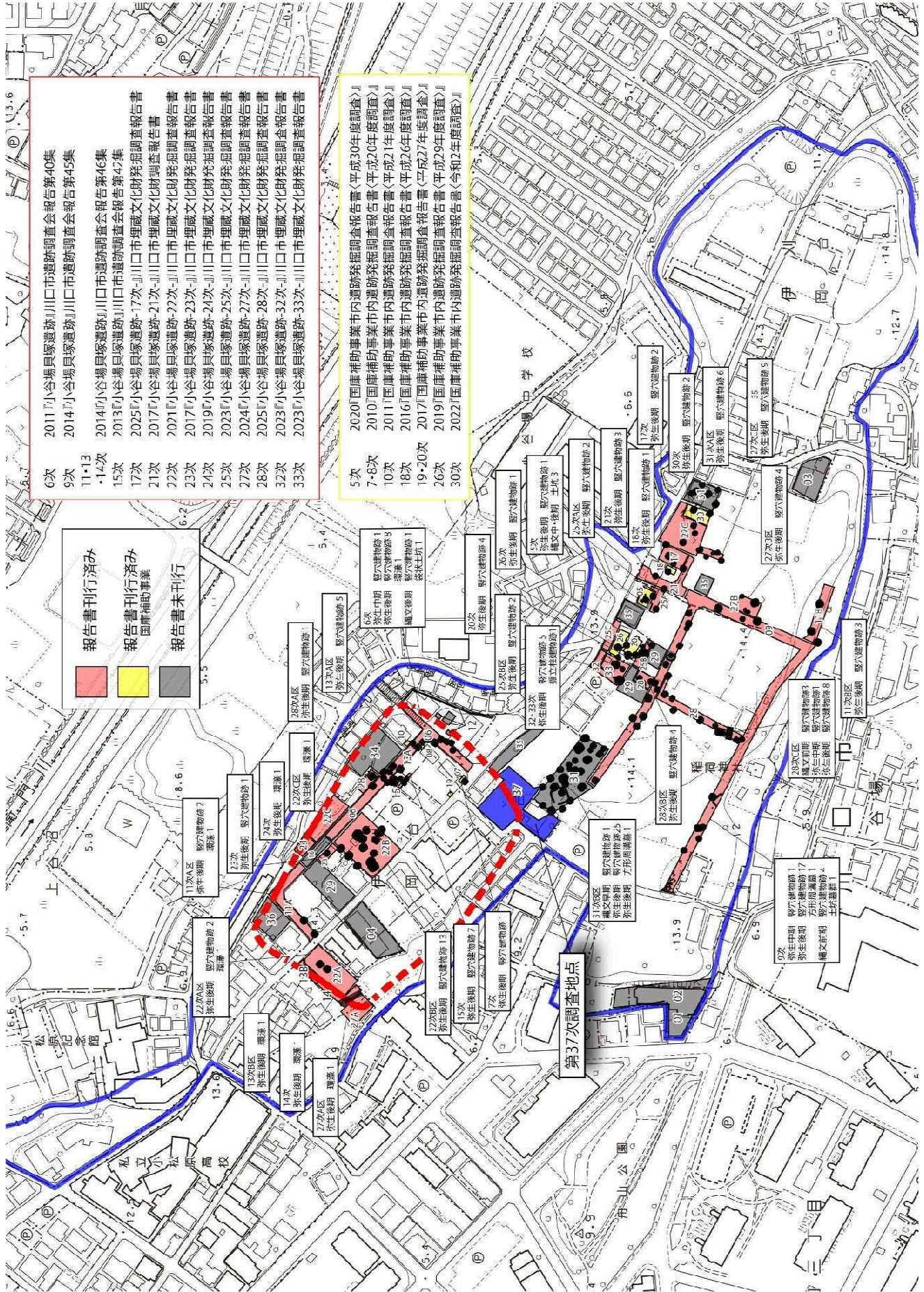
第37次調査は令和7年10月から令和8年2月末にかけて調査が行われる。調査地点は遺跡範囲のほぼ中央で調査対象面積は1,050㎡である。2月9日時点で弥生時代の竪穴建物跡14軒、環濠1条、近世の溝状遺構1条が確認されている。

特に注目されるのは環濠が確認された点であり、上端幅約4m、下端幅約20cm、深さ約3mのV字状の環濠が長さ約26mの範囲で確認された。環濠の覆土からは多数の土器片が出土し、完形の土器も確認された。

これまでの調査では6地点で環濠が確認されており、竪穴建物跡等を外周するように環濠がめぐると想定されていた。しかし、今回の調査で集落の中心部に環濠が走ることが確認され、これにより以下の点が想定されることとなった。

- ① 今回確認された環濠により、遺跡の北西部を環濠が外周することがわかった。この環濠の周長は479.5mで、環濠が巡る面積は16,017㎡となり、北西部のみの規模で関東の弥生時代後期の環濠集落では最大級の規模となる。
- ② 環濠が集落の北西部のみならず、南東部の遺構が確認される範囲も外周するように構築されていたと推定すると環濠の周長は約1,030mとなり、国内でも最大規模の環濠集落となる。また集落の中央で環濠が区画される調査事例は関東では確認されていない。
- ③ 環濠が集落の北西部のみを外周していたとすると、南東部の集落は環濠が外周していないこととなる。このような集落の一部のみ環濠が巡る例は他の遺跡で確認されていない。

今後も区画整理事業に伴う発掘調査は継続する予定であるが、今後は環濠の範囲を確認する調査を行っていく必要がある。



- 6次
 - 9次
 - 11・13次
 - 14次
 - 15次
 - 17次
 - 21次
 - 22次
 - 23次
 - 24次
 - 25次
 - 27次
 - 28次
 - 32次
 - 33次
- 2011「小谷場貝塚遺跡」川口市遺跡調査報告第40集
- 2014「小谷場貝塚遺跡」川口市遺跡調査報告第45集
- 2014「小谷場貝塚遺跡」川口市遺跡調査報告第46集
- 2013「小谷場貝塚遺跡」川口市遺跡調査報告第47集
- 2025「小谷場貝塚遺跡-21次」川口市埋蔵文化財発掘調査報告書
- 2021「小谷場貝塚遺跡-22次」川口市埋蔵文化財発掘調査報告書
- 2017「小谷場貝塚遺跡-23次」川口市埋蔵文化財発掘調査報告書
- 2019「小谷場貝塚遺跡-24次」川口市埋蔵文化財発掘調査報告書
- 2023「小谷場貝塚遺跡-25次」川口市埋蔵文化財発掘調査報告書
- 2024「小谷場貝塚遺跡-27次」川口市埋蔵文化財発掘調査報告書
- 2025「小谷場貝塚遺跡-28次」川口市埋蔵文化財発掘調査報告書
- 2023「小谷場貝塚遺跡-32次」川口市埋蔵文化財発掘調査報告書
- 2023「小谷場貝塚遺跡-33次」川口市埋蔵文化財発掘調査報告書

- 5次
 - 7・8次
 - 10次
 - 18次
 - 19・20次
 - 26次
 - 30次
- 2020「国庫補助事業市内遺跡発掘調査報告書〈平成30年度調査〉」
- 2010「国庫補助事業市内遺跡発掘調査報告書〈平成20年度調査〉」
- 2011「国庫補助事業市内遺跡発掘調査報告書〈平成21年度調査〉」
- 2016「国庫補助事業市内遺跡発掘調査報告書〈平成26年度調査〉」
- 2017「国庫補助事業市内遺跡発掘調査報告書〈平成27年度調査〉」
- 2019「国庫補助事業市内遺跡発掘調査報告書〈平成29年度調査〉」
- 2022「国庫補助事業市内遺跡発掘調査報告書〈令和2年度調査〉」

報告書刊行済み

報告書刊行済み
国庫補助事業

報告書未刊行

第37次調査地点



環濠検出状況



環濠内土器出土状況

(1) 報告

④市指定文化財鉄製火鉢明治三十五年喜道造ノ銘アリの調査について

(1) 市指定鉄製火鉢の概要について

種別	有形文化財 工芸品
名称	鉄製火鉢 明治三十五年一月喜道造ノ銘アリ
員数	二口
所有者	川口市
年代	明治35年(1902)
材質	鑄鉄製、台座櫨
製作者	2代目高木喜道
法量	下り竜・阿 総高 35.6 cm、最大径 48.6 cm 下り竜・吽 総高 35.4 cm、最大径 48.6 cm
銘文	下り竜・阿 右鑲下「明治三十五年一月」「喜道造」

市指定鉄製火鉢は、日用品鑄物生産から土木建築鑄物、機械部品鑄物生産へ大きくその社会的役割を担ってきた川口鑄物の歴史の中にあつて、美術工芸品鑄物の技術追求し「名工」と呼ばれた鑄物師が少なからず存在したという一面を語る貴重な文化財である。

市指定を受ける際に、製作技術についての調査と位置づけが今後の課題として挙げられた。今回、永瀬留十郎工場の永瀬勇氏に鉄製火鉢を実見いただき、技術的側面からの文化財価値について意見をいただいた。

(2) 鉄製火鉢の製作技術について

- ・竜などの彫刻については、半乾きの鑄型に竹製のへらを使用して彫り込む「ウラボリ」の技術が用いられており、きめ細やかな造形がされている点が優れている。
- ・火鉢の製作は、川口で伝統的に日用品の生産に用いられた惣型（ヤキガタ）の鑄型にヒキガタ技法で（天水桶などの円形の製品の製作に用いられる）で製作されており、特別に高い技術が用いられているというわけではない。火鉢の胴部下には胴部と底部の型合わせ部があり、天水桶に用いられる技法がみられる。
- ・川口鑄物で工芸品を扱っていた職人は非常に少ない。川口鑄物の明治期の工芸品が残っていることは非常に貴重である。

鑄物の美術工芸品には、分割して製作した鑄型を組み合わせる焼型や蠟の鑄型などが用いられるが、二代目高木喜道造火鉢は川口の伝統的な日用品生産に惣型の鑄型とヒキガタ技法により、工芸品としても優れた火鉢が作られていることが特徴的であるといえる。二代目高木喜道は、初代喜道と同様に渡り職人として全国の鑄物生産地を巡り修行を重ねたが、伝統的な川口鑄物の製作技術を用いることにこだわりがあったと考えられる。

二代目高木喜道造火鉢は、川口鑄物の伝統的な日用品生産技術により製作されており、川口鑄物技術の到達点を示しているという点からも貴重な文化財である。

(3) 正覚寺 山崎甚五兵衛氏作天水鉢について

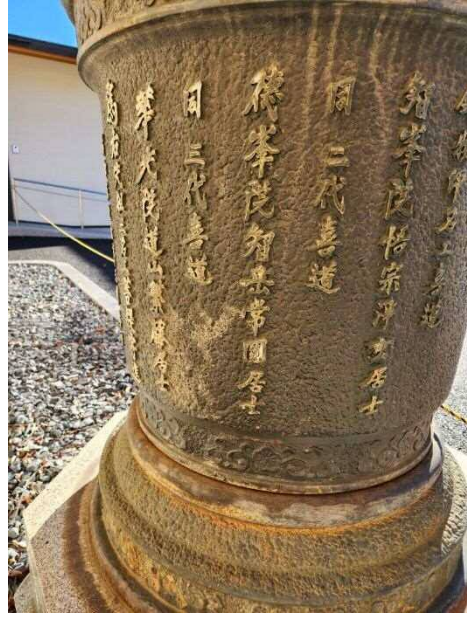
高木喜道は、その記録がほとんど残っていない鑄物師である。江戸時代末期から

昭和戦前期にかけて三代にわたり火鉢・鉄瓶・壺といった美術工芸作品を製作した。明治時代初期には、永瀬庄吉・横山某とともに「川口三名人」と称され、後世の多くの鋳物師たちに尊敬され、鋳造技術向上の目標とされ、鋳物師の模範とされた。

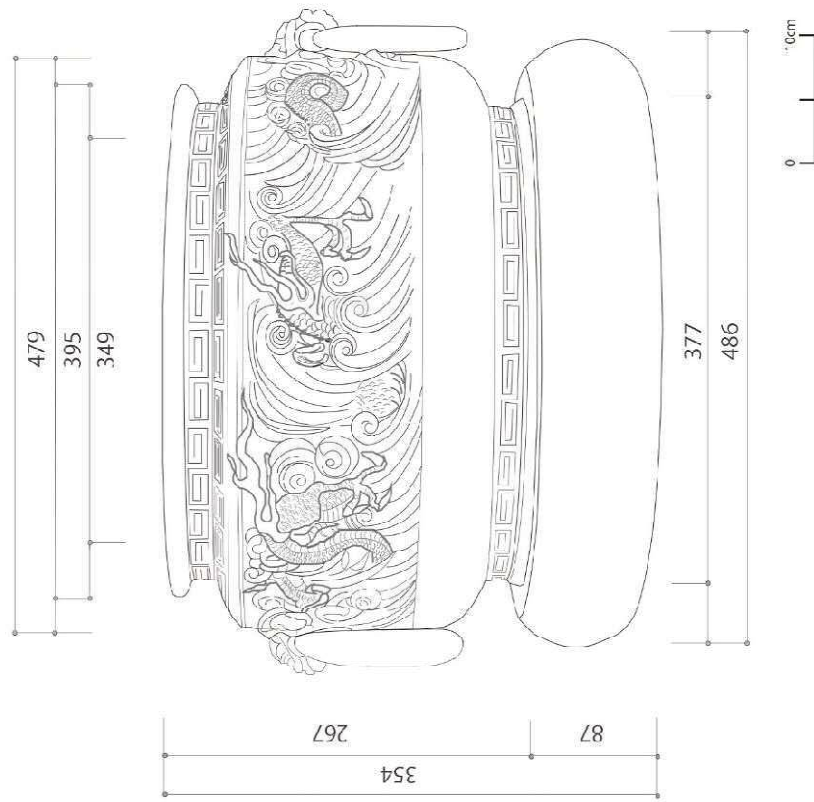
川口市の南平地区の正覚寺には、昭和56年（1981）に山崎甚五兵衛氏により製作された、初代から三代目高木喜道を表敬する天水鉢がある。この天水桶には竜の彫刻が施されおり、竜の彫刻を得意とした二代目高木喜道を意識して製作されたと考えられる。二代目高木喜道が後の鋳物師の模範・目標とされていたことを示す天水桶であるといえる。



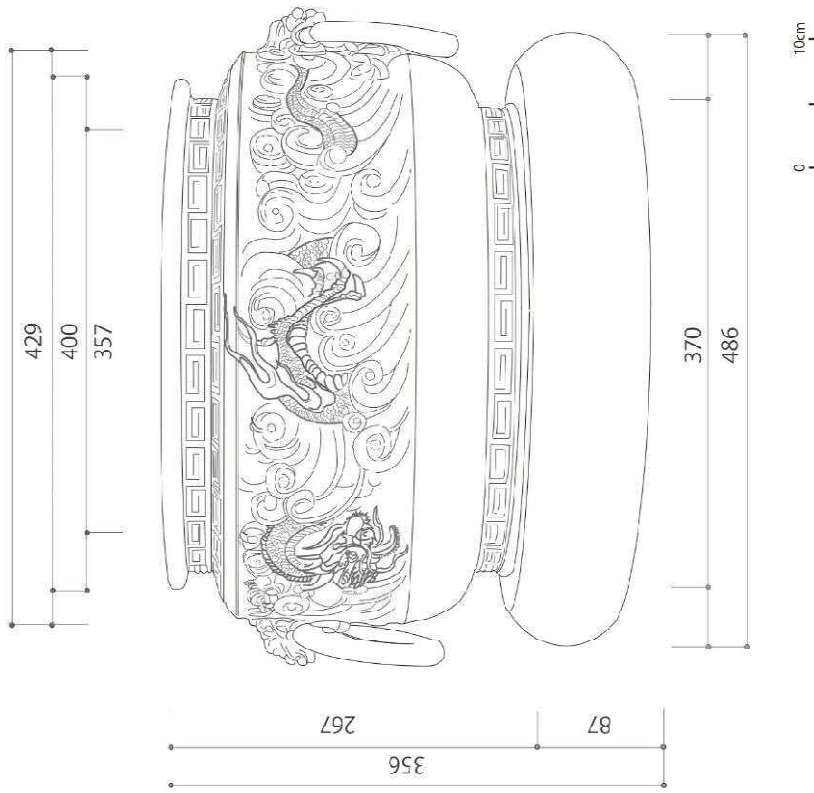
市指定文化財 鉄製火鉢明治三十五年喜道造ノ銘アリ



正覚寺 山崎甚五兵衛氏作天水桶



上がり竜・卍



下り竜・阿

鉄製火鉢 明治三十五年一月喜道造ノ銘アリ 実測図 (作成：浅井)

(1) 報告

⑤ベーゴマを活用した郷土資料館の取組と近世以降におけるバイゴマ・ベーゴマの調査について

郷土資料館では、令和4年度に全国で唯一のベーゴマ専門メーカー「(株)日三鋳造所」からベーゴマコレクションの寄贈を受けて以来、ベーゴマを活用した様々な取組を続けてきた。これにより、小・中学生を中心に友達同士や家族連れの来館者数が大幅に増加した。さらに、ベーゴマを目当てで来館した親子が他の展示を見学し、そこから川口の歴史や文化財に興味関心をもつ様子も頻繁に見られるようになった。本稿では、ベーゴマを活用した郷土資料館の取組と近世以降におけるバイゴマ・ベーゴマに関する調査研究について報告する。

1 ベーゴマを活用した郷土資料館の取組

(1)江戸期から令和まで800点のベーゴマを展示

(2)小・中学校「ベーゴマ教室」の実施

令和4年度から令和7年度までの4年間で、延べ168校 15,759人が参加

(3)郷土資料館内でのベーゴマ指導、展示解説

毎週土日や祝日に、1日あたり40～80人の来館者/100人を超える日も

(4)外部講師、講演会

川口鋳物とベーゴマの歴史を解説

市内外から注目＝日本の玩具文化、モノづくり・職人の技術

(イオンモール、ロータリークラブ、タカラトミー、日本玩具文化財団、日本郷土玩具の会)

(5)取材対応、利用許可申請

令和2年度以降の郷土資料館における取材対応

・新聞報道 57回

・テレビ取材 多数(NHK、日テレ、TBS、フジテレビ、テレビ東京)

・その他(Web記事、書籍、旅雑誌等)

2 近世以降におけるバイゴマ・ベーゴマの調査

(1)バイゴマ・ベーゴマの定義と歴史 資料1

(2)川口におけるベーゴマ製造およびベーゴマを取り巻く時代の変化 資料2

資料1：バイゴマ・ベーゴマの定義と歴史

定義：貝または金属で作られた軸を有しない独楽。

関西では「バイゴマ」、関東では「ベーゴマ」と呼ぶ。

紐を巻き付けて「トコ」と呼ばれる土俵に投げ入れて回す。

安土桃山時代：「太閤秀吉の時代に口吸い独楽」との記述

江戸時代：バイゴマ（バイ貝を加工した独楽／鉛と粘土を詰めて蠟で蓋をした）

大阪、京都、神戸にバイゴマの製造・販売を生業とする者たちがいた。

明治時代：真鍮バイ（バイゴマを模して初めて真鍮で鑄造された／大阪市博労町＝職人街）

大正時代：面バイ（泥面子の「芥子面」との類似性／京都の古民家から大量に発見）

廻船問屋により、関東に運ばれた？→江戸言葉「バイゴマ→ベイゴマ／ベエゴマ」か

おちょこべー（お猪口状に窪んでいる／関東圏で確認される／一部が白銑化）

関西バイ（バイ貝の断面を模したデザイン／鑄造方法が富本銭と同じ？）

昭和初期：東京六大学野球（T・W・K・M・R・H）貝独楽の系譜＝「丸六」

戦時色が濃くなっていく

・爆弾三勇士（「江下、北川、作江」＝初めて文字が使われたデザイン）

・のらくろ（初めてキャラクターが使われたデザイン）

戦時中：金属回収により、代用ベーゴマが生まれる

・陶器べー（素焼きや瀬戸物のベーゴマ／加工痕／川口の防空壕からも出土）

・ガラスべー（通称「ペロペロ」と呼ばれるラムネ菓子の容器でベーゴマ型）

かけ声「いっしょんせ！いっしょんべ！（一緒にベーゴマしようぜ）」が、

大人に隠れて遊ぶため「しっしっし！」→現在のかけ声「ちっちのち！」の元

戦後：粗悪な鉄で鑄造された「丸六」

初めから角をつけた「角六」が生まれる。

多様なデザインが生まれる。＝子どもたちのヒーロー／異種・異世界格闘技戦

（プロレス、大相撲、野球・球団、役者、アニメ・特撮・映画 等）

大阪空襲→徳島でベーゴマ鑄造「徳島べー」が生まれる。

関西では、八角形ではなく七角形や六角形のバイゴマも生まれる。

平成：復刻デザイン

ゲームやアニメのキャラクター ※著作権により姿を消す。

令和：復刻デザイン、家紋、星座、恐竜、昆虫、江戸文字、塗り絵 等

オリジナルデザインの受注＝無限大

埋蔵文化財：蜂須賀家屋敷跡出土 貝独楽（徳島県）

難波京・大阪城跡出土 貝独楽（大阪府）

防空壕跡出土 陶器べー（川口市）

古文書：日葡辞書(1603)、日次紀事(1676)、好色一代男(1682)、男色大鏡(1687)、

和漢三才図絵(1712)、絵本御伽品鏡(1739)、浮世絵「時再興在原系圖」(1820)

守貞謄稿(1853)、明治教育版画帖「勉強する童男」(1870頃)

資料2：川口におけるベーゴマ製造およびベーゴマを取り巻く時代の変化

<高度経済成長期以前>

- ・川口におけるベーゴマ製造は、生型・木枠に手込みが一般的であった。

<高度経済成長期・昭和30～40年代>

●社会的背景

- ・工業用部品の需要が増加 →川口では自動車、エレベーター等の部品を数多く生産
- ・全国各地の鋳物工場でバイゴマ、ベーゴマを製造(大阪、徳島、広島、愛知、川口)
- ・空き地や路地裏＝「子どもたちの遊び場」の消滅
原因1) 自動車の普及に伴う「都市計画道路」の建設
原因2) 区画整理による火災に強い街づくり
原因3) 生活様式、家族形態の変化
原因4) 路地に面した小さな住宅をまとめ、集合住宅化
- ・テレビの普及に伴うキャラクター玩具の登場
- ・生活水準の向上により、玩具は「作るもの」から「買うもの」に変化

●川口の様子とベーゴマ製造

- ・工業用部品の大量受注から、多くの工場で「F1モールドイングマシン」が導入
- ・ベーゴマ生産の特徴として ①小さい(直径3cm)・軽い(30～35g)、②少ロット数、③多様なデザイン、④単価が安い などが挙げられるが、これがモールドイングマシンを活用する利点と合致。市内の数社で鋳造をしていたことが聞き取り調査により確認。
- ・余った湯でベーゴマを鋳造した。
- ・秋から冬にかけて注文が増加した。
- ・昭和37年(1962) 映画「キューポラのある街」公開
- ・昭和41年(1966) 市のマスタープランに基づき「新郷工業団地」造成開始
- ・昭和45年(1970) 「川口新郷工業団地」設立
同年 当時、ベーゴマ製造をしていた榎枿鋳工所の閉業により、川口市長・大野元美から日三鋳造所にベーゴマ製造を受け継ぐよう説得し、金型(下写真)と取引先のすべてを引き継ぐことに。本業と並行してベーゴマ製造を続ける。
- ・昭和48年(1973) 川口鋳物生産量が40万7千トンとピーク



昭和45年(1970)に
榎枿鋳工所から引き継いだ
ベーゴマの金型

少なくとも55年以上は経過している。これまでに国内で確認できた中で、現存する最も古い金型である。

<昭和 50 年代～平成～令和>

●遊び文化の変化(平成：テレビゲームとカードゲームの隆盛)

- ・昭和 58 年(1983) 家庭用ゲーム機 「ファミリーコンピュータ(任天堂)」発売
- ・平成元年(1989) 携帯用ゲーム機 「ゲームボーイ(任天堂)」発売
- ・平成 2 年(1990) 家庭用ゲーム機 「スーパーファミコン(任天堂)」発売
同年 米国生まれのトレーディングカードゲーム(TCG)「マジック：ザ・ギャザリング」が国内で発売
- ・平成 4 年(1994) 家庭用ゲーム機 「PlayStation(ソニー)」「セガサターン(SEGA)」発売
- ・平成 6 年(1996) 日本初の国産 TCG 「ポケモンカードゲーム」発売
- ・平成 9 年(1999) TCG「遊☆戯☆王オフィシャルカードゲーム」発売
同年 「バーゴマの進化系」として「バイブレード(タカラトミー)」発売

●川口の様子とバーゴマ製造

- ・宅地化が進む中、工場を地方へ移転する会社が増加。
- ・平成 10 年(2000) 日三鋳造所が経営難により閉業。すでに全国で 1 社のみとなっていたバーゴマ製造も途絶えた。
同年 日本中のバーゴマファンから励ましの手紙が日三鋳造所に大量に届く 2 代目社長が再開を検討。
- ・平成 12 年(2002) 本社である辻井製作所の敷地内に会社と工場を移転し、再開。
- ・平成 21 年(2011) 会社を弥平町へ移転。鋳造作業を他社に委託する形態に変更。
- ・令和 2 年(2020) 新型コロナウイルスの感染拡大により、問屋からの注文やイベントがゼロに。経営難から弥平町の敷地を売却し、知人を頼って鳩ヶ谷本町 1 丁目へ移転。2 年程度で閉業の見込みと考えていた。
- ・令和 6 年(2024) 米国との関税問題により、大企業からの発注が激減。それが利益の大半を占めていた鋳物工場は閉業。自社では製造をせず、鋳物を必要とする顧客と製造工場を仲介する、通称「ブローカー」に転業する会社も。
- ・令和 7 年(2025) 問屋からの注文やイベントがコロナ前の 6 割程度に復活。店頭での売り上げも急増したことで、今後も継続できるように。

川口市指定文化財等一覧表

令和7年4月1日現在

No.	種別	指定等	名称	所有(管理)者	所在地等		
1	重要文化財	建造物	国 旧田中家住宅	川口市	末広1-7-2		
2	有形文化財	建造物	県 鶴ヶ丸八幡神社本殿付棟札一枚	宗教法人・八幡神社	大字芝6843		
3			県 西福寺三重塔付元禄六年棟札一枚	宗教法人・西福寺	大字西立野420		
4			市 前川神社内本殿	宗教法人・前川神社	前川町3-49-1		
5			市 赤山山王権現社本殿付覆屋一棟・狛犬一对	宗教法人・日枝神社	大字赤山1218		
6			市 柳崎氷川神社本殿	宗教法人・氷川神社	柳崎5-20-1		
7			市 宝蔵院仁王門	宗教法人・宝蔵院	大字安行慈林954		
8			市 金剛寺山門	宗教法人・金剛寺	大字安行吉岡1361		
9			市 羽盡神社本殿	宗教法人・羽盡神社	大字芝5379-1		
10	市 八雲社社殿(旧金山権現社社殿)	宗教法人・川口神社	金山町6-15				
11	有形文化財	絵画	県 龍派禅珠の頂相	宗教法人・長徳寺(県博寄託)	さいたま市大宮区高鼻町4-219		
12			県 中峰明本頂相	宗教法人・長徳寺(県博寄託)	さいたま市大宮区高鼻町4-219		
13	有形文化財	工芸品	県 銅造クジャク文馨	宗教法人・宗信寺	上青木2-31-8		
14			県 銅鐘	宗教法人・錫杖寺	本町2-4-37		
15			県 太刀(銘長光)	個人蔵	飯塚		
16			県 銅製秋草双雀鏡	宗教法人・羽盡神社	大字芝5379-1		
17			市 安行吉岡氷川神社銅造懸仏	氷川神社(市寄託)	鳩ヶ谷本町2-1-22		
18			市 弘化二年銘鱧口	宗教法人・善光寺	舟戸町1-29		
19			市 川口神社の神鏡	宗教法人・川口神社	金山町6-15		
20			市 弘治二年銘鱧口	宗教法人・千手院(市寄託)	鳩ヶ谷本町2-1-22		
21			市 天保十年銘天水鉢	川口市	元郷1-2-18		
22			市 明和三年銘半鐘	宗教法人・西光院	戸塚2-6-29		
23	市 鉄製火鉢 明治三十五年一月喜道造ノ銘アリ	川口市	鳩ヶ谷本町2-1-22				
24	有形文化財	彫刻	県 木造大日如来坐像(金剛界)	宗教法人・安楽寺	上青木2-18-30		
25			県 木造阿弥陀如来坐像付胎内仏十字架	如意輪観音堂(県博寄託)	さいたま市大宮区高鼻町4-219 芝西1-19-17(複製)		
26			県 金銅勢至菩薩立像	宗教法人・善光寺	舟戸町1-29		
27			県 木造僧形八幡坐像付紙本墨書造像願文等三十七点	宗教法人・峯ヶ岡八幡神社(紙本墨書造像願文等三十七点は県博寄託)	大字峯1304 さいたま市大宮区高鼻町4-219		
28			県 木造不動明王立像	宗教法人・地藏院	桜町5-5-39		
29			市 源長寺の阿弥陀如来坐像	宗教法人・源長寺	大字赤山11285		
30			市 木造如意輪観音坐像及び像内納入物	宗教法人・西福寺	大字西立野420		
31			市 木造釈迦如来坐像	宗教法人・興禪院	大字安行領家401		
32			市 江戸袋氷川神社蔵仏像	宗教法人・氷川神社	江戸袋3-28-22		
33			市 木造日蓮上人坐像	宗教法人・常住寺	辻700		
34			市	木造 薬師如来立像 日光・月光菩薩立像 十二神将立像 付 旧宮殿側板(天明十五年の記載あり) 銅造薬師如来立像 木造如来形立像 木彫仏残欠	宗教法人・宝蔵院	大字安行慈林954	
35			有形文化財	典籍古文書	県 寒松日記及び寒松稿	宗教法人・長徳寺(県博寄託)	さいたま市大宮区高鼻町4-219
36					県 北潜日抄	個人蔵	東領家
37					県 小谷三志関係資料	川口市	鳩ヶ谷本町2-1-22
38					市 安井息軒書翰及び同家奉公人請状	川口市	中青木2-20-31
39	市 増田家鋳造関係古文書	個人蔵(市寄託)			中青木2-20-31		
40	市 高島秋帆褒状	個人蔵			本町		
41	市 赤山陣屋敷絵図面	個人蔵			大字安行原		
42	市 飯田家(地方)古文書	個人蔵(市寄託)			中青木2-20-31		
43	市 新光寺文書	宗教法人・新光寺(市寄託)			中青木2-20-31		
44	市 早船家古文書	個人蔵(市寄託)			中青木2-20-31		
45	市 羽盡神社朱印状	宗教法人・羽盡神社			大字芝5379-1		
46	市 太閤秀吉の禁制	川口市			鳩ヶ谷本町2-1-22		
47	市 小谷三志関係資料	川口市			鳩ヶ谷本町2-1-22		
48	市 北条氏印判状	川口市			鳩ヶ谷本町2-1-22		
49	市 船津喜助家所蔵文書	個人蔵			里		
50	市 小谷三志筆和歌	川口市			鳩ヶ谷本町2-1-22		
51	市 富士講関係資料(小谷家文書・霜田家文書・折原家文書)	川口市			鳩ヶ谷本町2-1-22		
52	市 黒田家富士講関係文書	川口市			鳩ヶ谷本町2-1-22		
53	県	三ツ和遺跡出土木簡 附 井戸枠10点 須恵器坏1点 須恵器及び土師器残欠10点 木簡を除く井戸枠補強材31点			川口市	鳩ヶ谷本町2-1-22	
54	有形文化財	考古資料			市 戸塚精進場遺跡出土品	川口市	芝園町3-8
55			市 吹原遺跡出土蔵骨器(26点)	川口市	芝園町3-8		
56			市 赤山縄文遺跡出土遺物付トチの実	川口市	芝園町3-8		
57			市 浦寺遺跡出土石器付図面等関連資料一括	川口市	鳩ヶ谷本町2-1-22		
58			市 里字屋敷添第4遺跡出土磨石二年銘板碑一基 付出土板碑一括	川口市	鳩ヶ谷本町2-1-22		
59			市 前田字六反畑第1遺跡第1号井戸跡・井戸枠及び出土遺物一括	川口市	里127		
60			市 里字屋敷添第2遺跡出土烏帽子	川口市	鳩ヶ谷本町2-1-22		
61			市 東本郷曲輪遺跡古墳出土馬具等金属製品一括	川口市	芝園町3-8		
62			市 伊奈家須徳碑	宗教法人・源長寺	大字赤山11285		
63			市 妙法蓮華経版木(全五十三枚)	宗教法人・新光寺	大字峯1319		
64	市 元亨二年銘宝篋印塔	宗教法人・善光寺	舟戸町1-29				
65	有形文化財	歴史資料	市 八幡宮石祠(伊奈忠順の碑文)	宗教法人・日枝神社	大字赤山1218		
66			市 大砲設計図	個人蔵	栄町		
67			市 長徳寺三十六歌仙絵扁額	宗教法人・長徳寺	大字芝6303		
68			市 福緑石炭ストーブコレクション及び関連資料	株式会社 福緑川口工場 川口市	幸町1-1-15 弥平1-7-3		
69			市 文明三年銘庚申待供養板碑	宗教法人・実相寺	領家2-14-11		
70			市 永正十五年銘二十一仏庚申待供養板碑	宗教法人・宝蔵寺	大字西新井宿355		
71			市 道標(新四国八十八箇所札所五十九番標識)	宗教法人・地藏院	桜町5-5-39		
72			市 道標(庚申塔)	川口市	鳩ヶ谷緑町1-9		
73			市 阿弥陀三尊図像月待供養板碑	個人蔵	里		
74			市 元弘三年銘阿弥陀一尊板碑	宗教法人・実正寺	南鳩ヶ谷3-15-14		
75			市 建武五年銘阿弥陀一尊板碑及び貞和四年銘阿弥陀一尊板碑	宗教法人・源永寺(一部市寄託)	三ツ和2-19-8 鳩ヶ谷本町2-1-22		

No.	種 別	指定等	名 称	所有(管理)者	所 在 地 等
76	有形文化財 歴史資料	市	享和四年銘算額	宗教法人・米川神社	三ツ和3-22-2
77		市	永仁四年銘釈迦一尊板碑及び嘉暦四年銘阿弥陀三尊板碑	個人蔵	鳩ヶ谷緑町
78		市	蔵前橋の橋石	川口市	南鳩ヶ谷1-14
79		市	暦応三年銘阿弥陀一尊板碑	宗教法人・源永寺	三ツ和2-19-8
80		市	宿助成金御手形籠	個人蔵	里
81		市	日光御成道絵図	川口市	鳩ヶ谷本町2-1-22
82		市	五榜の高札(徒党強訴逃散禁制・切支丹禁制)	個人蔵(市寄託)	鳩ヶ谷本町2-1-22
83		市	御宮地絵図面(鳩ヶ谷宿並絵図)	宗教法人・米川神社(市寄託)	鳩ヶ谷本町2-1-22
84		市	とんぼ橋の橋石	川口市	坂下町3-1-6
85		市	五榜の高札(五倫の道遵守等)	個人蔵(市寄託)	鳩ヶ谷本町2-1-22
86		市	弘安六年銘阿弥陀三尊板碑	個人蔵	桜町
87		市	道標(地藏菩薩)	宗教法人・真乗院	大字石神1253
88		市	道標(庚申塔)	宗教法人・多宝院	大字新井宿157
89		市	「平剣」稿見本付関連資料	個人蔵	大字芝
90	市	「鍋平」商店跡物問屋関係資料	川口市	中青木2-20-31	
91	重要有形民俗文化財	国	木曾呂の富士塚	川口市	大字東内野594-6他
92	有形民俗文化財	市	だるま輪(踏たたら)	川口市	元郷1-2-18
93		市	長徳寺の獅子頭及び神楽面	宗教法人・長徳寺	大字芝6303
94		市	寛文五年銘阿弥陀庚申塔	宗教法人・実正寺	南鳩ヶ谷3-15-14
95		市	寛文四年銘地藏庚申塔	台阿弥陀堂	南鳩ヶ谷2-8-3
96		市	須賀神社神輿	宗教法人・米川神社	鳩ヶ谷本町1-6-2
97		市	曳き馬図絵馬	川口市	鳩ヶ谷本町2-1-22
98		市	鎌倉権五郎矢抜き図絵馬	川口市	鳩ヶ谷本町2-1-22
99		市	曳き馬図ガラス絵馬	宗教法人・八幡神社	八幡木1-25-2
100		市	八幡神社祭礼図絵馬	宗教法人・八幡神社	八幡木1-25-2
101		市	日光社参御小休所図絵馬	宗教法人・米川神社	三ツ和3-22-2
102		市	川中島合戦図絵馬	宗教法人・米川神社	三ツ和3-22-2
103		市	三条小鍛冶宗近図絵馬	上新田稲荷社	八幡木2-30-10
104		市	市神社	市神社保存会	鳩ヶ谷本町2-2-2
105		市	武者絵図絵馬	宗教法人・八幡神社	八幡木1-25-2
106	市	八幡木ばやしの神楽面・衣装・楽器	川口市	鳩ヶ谷本町2-1-22	
107	市	景清の半破り図絵馬	宗教法人・観福寺	前川4-30-13	
108	市	浅間神社参拝図絵馬	宗教法人・東沼神社	差間2-15-45	
109	市	伊勢太々神楽図絵馬	宗教法人・子日神社	大字新井宿155	
110	市	日光東照宮参拝図絵馬	諏訪神社	東川口1-10-15	
111	無形民俗文化財	市	寛永二十年銘山王二十一仏庚申塔	宗教法人・西光院	戸塚2-6-29
112		市	寛文十一年銘地藏庚申塔	宗教法人・法性寺	朝日2-28-9
113		市	安行藤八の獅子舞	安行藤八獅子舞保存会	大字安行藤八
114		市	江戸袋の獅子舞	江戸袋獅子舞保存会	江戸袋
115		市	安行原の蛇走り	安行原蛇走り保存会	大字安行原
116		市	領家の囃子と神楽	領家囃子神楽保存会	領家
117		市	川口の木遣	川口鳶消防組木遣保存会	飯塚
118		国	見沼通船堀	川口市・さいたま市	大字東内野594-6他
119		県	新郷貝塚	川口市他	大字東貝塚25他
120		県	龍派禅珠の墓	宗教法人・長徳寺	大字芝6303
121		市	平柳蔵人居館跡	川口市	元郷4-12-6
122		市	代官熊沢家の墓	宗教法人・長徳寺	大字芝6303
123		市	金剛寺経塚付出土品	宗教法人・金剛寺	大字安行吉岡1361
124		史 跡	市	凱旋橋跡付凱旋橋之碑	川口市 宗教法人・川口神社
125	市	良賢・英賢の墓	円明庵	八幡木2-8-10	
126	市	垂井知等の墓	円明庵	八幡木2-8-10	
127	市	小谷三志の墓	宗教法人・地藏院	桜町5-5-39	
128	市	旧浦寺村の弁天池跡付元文元年・寛文九年銘の石碑2基	個人	桜町6-778-1	
129	名 勝	市	旧跡物問屋鍋平別邸庭園	川口市	金山町15-2
130	天 然 記 念 物	県	長徳寺のビヤクシン	宗教法人・長徳寺	大字芝6303
131		市	真乗院のコウヤマキ	宗教法人・真乗院	大字石神1253
132		市	慈星院のカヤ	宗教法人・慈星院	大字芝5222
133		市	峯ヶ岡八幡神社の社叢	宗教法人・峯ヶ岡八幡神社	大字峯1304他
134		市	安行原イチリンソウ自生地	埼玉県 川口市	大字安行原2269-1 大字安行原2269-2・2270
135	市	地藏院のタブノキ	宗教法人・地藏院	桜町5-5-39	
136	旧 跡	県	赤山城跡(赤山陣屋敷址)	川口市他	大字赤山766-2他
137		県	小谷場貝塚	個人	大字小谷場1002他
138		県	安行苗木開発の祖吉田権之丞の墓	宗教法人・金剛寺	大字安行吉岡1361
139		県	小谷三志屋宅跡	個人	桜町1-1-12
140		国	旧跡物問屋鍋平別邸主屋	川口市	金山町15-2
141	国	旧跡物問屋鍋平別邸離れ	川口市	金山町15-2	
142	国	旧跡物問屋鍋平別邸蔵	川口市	金山町15-2	
143	国	十一屋北西商店店舗	個人	鳩ヶ谷本町1-2-8	
144	国	十一屋北西商店蔵	個人	鳩ヶ谷本町1-2-8	
145	国	大泉家住宅洋館	個人	領家5-4-1	
146	国	大泉家住宅和館	個人	領家5-4-1	
147	国	永瀬昌文家住宅主屋	個人	本町1-8-6	
148	登録有形文化財(建造物)	国	永瀬孝男家住宅洋館	個人	本町1-5-12
149	国	永瀬孝男家住宅和館	個人	本町1-5-12	
150	国	永瀬孝男家住宅土蔵	個人	本町1-5-12	
151	国	永瀬孝男家住宅納屋	個人	本町1-5-12	
152	国	永瀬孝男家住宅旧発電所	個人	本町1-5-12	
153	国	永瀬孝男家住宅煉瓦蔵	個人	本町1-5-12	
154	国	永瀬孝男家住宅表門及び煉瓦塀	個人	本町1-5-12	
155	国	旧森龍織物主屋	個人	大字安行領根岸字台2219	
156	国	旧森龍織物工場	個人	大字安行領根岸字台2219	
157	選 定 重 要 遺 跡	県	宮合遺跡		西立野字宮合
158		県	猿貝貝塚		安行字宮越990 安行字大元790他
159		県	前野宿貝塚		東本郷字大塚1586他
160	県	江戸袋貝塚		江戸袋1-20-32他	

別表1 指定主体別一覧表

国指定文化財	3
県指定文化財	24
市指定文化財	112
国登録有形文化財	17
選定重要遺跡	4
合計	160

別表2 種別別一覧表

重要文化財(建造物)	1
有形文化財(建造物)	9
有形文化財(絵画)	2
有形文化財(工芸品)	11
有形文化財(彫刻)	11
有形文化財(典籍 古文書)	18
有形文化財(考古資料)	9
有形文化財(歴史資料)	29
重要有形民俗文化財	1
有形民俗文化財	21
無形民俗文化財	5
史跡	11
名勝	1
天然記念物	6
旧跡	4
登録有形文化財(建造物)	17
選定重要遺跡	4
合計	160

